

# 3 レベルによる違いは？

- レベル1～3では、育成プログラムを受講して基礎から体系的に学びます。レベル4以上はプロレベルで、実績やスキルについて面接試験で評価を行います。実績をお持ちの方は、レベル4から取り組むことができます。

レベルごとの人材イメージ			
レベル	特徴	食の6次産業化プロデューサーの人材イメージ	
レベル6	● トップ・プロフェッショナル	● 組織内外で後進を育成 ● 他の農林漁業者に対して「食の6次産業化」の手法・戦略を指導	
レベル5	● 高度な専門性・オリジナリティ	● 商品のブランド化 ● 他の法人のビジネスパートナーとして活躍 ● プロジェクトを多角化し、複数の商品や分野(観光・輸出等)に進出し、継続的な実績	
レベル4	● 一人前の仕事ができる段階 ● チーム内でリーダーシップ	食の6次産業化に関する経験や実績があり、事業化、マネジメント、コンサルティングなどの成果を出している	
レベル3	指示等がなくとも、一人前の仕事ができる段階	「できる」※ 食の6次産業化に関する経験や実績がある	「わかる」※ ● ビジネス計画書の作成 ● 商品開発、マーケティング戦略
レベル2	一定の指示のもと、ある程度の仕事ができる段階	「できる」 大学の演習等も含み、何らかの食の6次産業化に関する経験や実績がある	「わかる」※ ● 関連法規 ● 収支計画 ● 経営計画
レベル1	職業準備教育を受けた段階	「できる」 実習等による経験	「わかる」 ● 6次産業化の基礎 ● 食品安全、衛生管理

↑ プロレベル ↓

自己の能力・スキルをPR

消費者や事業者の信頼性が高まる

採用チャンスの拡大

例えば？

- 法人化して黒字化に成功!
- プロのコンサルタントとして活躍!

例えば？

- 商品開発や直接販売を实践
- 法人や支援機関のスタッフ

例えば？

- 将来に向けて大学などで勉強中
- 道の駅への出荷、一次加工にチャレンジ

※レベル2、レベル3の「わかる」、レベル3の「できる」では、「事業主・法人スタッフコース」と「支援スタッフコース」を選択できます。支援スタッフコースは、コンサルタントや行政機関の方などを想定しています。

## 「食の6次産業化プロデューサー」に認定されると…

- 「食Pro.」として自己の能力・スキルをPRすることができます。
- 名刺に食PRO.のロゴマークを入れられます。
- 食Pro.サイトにレベル毎に氏名等が掲載※されます。※掲載の可否は認定者が選択できます。
- 消費者や他の事業者からの信頼性が高まることが期待されます。
- ビジネスパートナーを見つけやすくなるなど、ビジネスの発展・拡大が期待されます。
- 法人での処遇の改善や採用チャンスの拡大が期待されます。